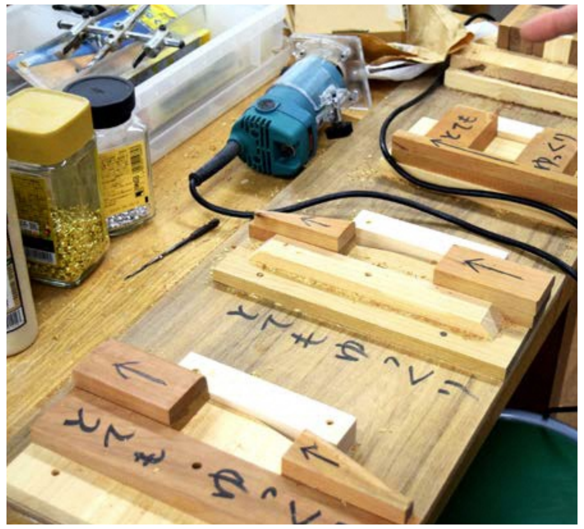
おおなんみんなのつみき vol.1

みんなのつみきができるまで

石見養護学校
木工班

このまちで生まれた木で、このまちの人の手からみんなの思いが一つになって、一つのものが生まれました。これからの未来を担う赤ちゃんへ、赤ちゃんを大切に育てるご家族の方へ木のもつぬくもりがエールになるようにみんなで作った、みんなのための積み木です。



想い
一箱につまった生徒たちの時間。

積み木の製作に取り組むテーブルの上には、手作りの木製の補助具が置いてあった。油性ペンで大きく「とてもゆっくり」と書いてある。

「一つのパーツを毎回同じ形に維持することはとても難しいことで、教員で補助具を作り、生徒がその型に木をはめて出ている部分を削るという方法で同じ形にできるようにサポートしているものもあります。」見回すと学校の先生だけではなく、地域の木工技術をもった方が外部講師として生徒と共に作業されている。

「この授業は木工製品を作ることが目的ではなくて、生徒たちが働く力を身につけるための時間なんです。うまくいかない時こそ生徒にとっての学習の場面と捉えて、困っているなという時もこちらからはあまり言いすぎずに自分から発信できるような場面設定をしたり、失敗してもいいという考えで素直にその事が言えることの方が大切で。生徒一人ひとりの様子に合わせて進めるようにしていて、その生徒の実態に応じた製品や工程をこちらが考えて担当を決めています。工程が少ない生徒もいるし複雑な工程をする生徒もいます。積み木の作業が好きな生徒もいて、朝礼の時に積み木担当で良かったと言ってくれることもあります。」

2ヶ月ごとの納期がある中で、週2回の作業学習の時間の中で生徒たちが作ることのできる積み木の数は限られている。しかしながら時間をかけて積み木をつくりあげるたびに、その生徒の未来につながる力も培われていく。生徒にとっての一箱が、生徒にとっての一歩であり、それは成長著しい1歳半の赤ちゃんへの、他の何にも変えられない贈り物になる。

【全編バージョンにつづく】

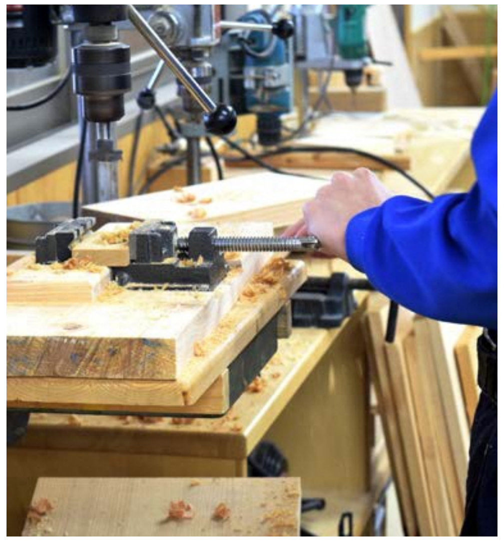
【お話を伺った方】
石見養護学校 木工班
平木 健滋 先生 /Kenji Hiraki

おおなんみんなのつみき特設Webサイトからみなさまのご意見、ご感想をお待ちしております。

全編バージョンはこちらから→
◎「ここにしかない石見養護学校クオリティ」
◎「この町のエールの交換のように」

〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000 邑南町役場 地域みらい課

このまちの86%にドキドキしよう 邑南町は木育を推進します。



背景

想いのバトンをリレーして。

「通ります。」石見養護学校木工班が作業をする木工室に入ると、すれ違う生徒たちが口々にそう声をかけてくれる。ここは積み木の製作を担う木工班が作業をする場所。安全のため人とすれ違う時はそう声をかけるように徹底されているのだそうだ。みんなきちんと作業帽と作業着を着用して、周囲にはいくつもの木工機械が並んでいる。全員が積み木の製作に関わっているわけではないがそれぞれが黙々と自分の作業に取り組んでいた。

石見養護学校では週に2日作業学習という授業があり、製菓班、窯業班、園芸班、木工班それぞれが1時間目から6時間目まで丸1日作業に取り組む。この積み木のプロジェクトのはじまりは、平成27年度のおおなんドリーム学びのつどい※の中で石見養護学校の生徒が積み木のプレゼントを提案したことだった。「提案した生徒たちは卒業しましたが、作業班として積み木を担当する生徒たちには先輩たちが提案したことや思いを伝えた上で作業に取り組めるようにしています。様々な人とつながってこの積み木が生まれたこと、邑南町産材を使っていてこの町とも深くつながっていること、そんなストーリー性を意識することは当初から大切にしていることです。」今回お話を伺った木工班担当の平木健滋先生は、積み木のプレゼントが提案された当初からプロジェクトに携わり現在も生徒の積み木製作をサポートしている。

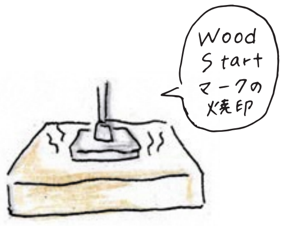
作られた積み木は生徒たちが可能な範囲で1歳半健診時に直接渡すことも行なっている。提案した生徒たちの想いは町役場や地域の方々の協力により、長い準備期間を経て今ここにいる生徒たちの手で形になり、着実に赤ちゃんの手へ届けられている。

※「おおなんドリーム 学びのつどい」
邑南町内の小学生、中学生、高校生、大人が一堂に会し、邑南町の良さや暮らしの課題などについて学びまとめたことを自分たちの夢や願いを込めてプレゼンし互いに聴き合い意見交換する場。

みんなのつみきができるまで

積み木製作の全工程

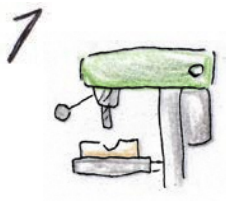
【焼印作業】



木箱に焼き印を焼き付ける。

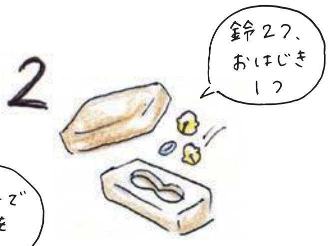
【オオサンショウウオパーツの製作】
《町産材サクラ》

1



卓上ボール盤で穴をあける。

2



鈴とおはじきを穴に入れる。

3

植物性のボンドで貼り合わせる。

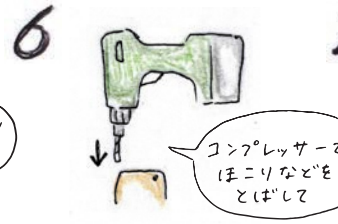
4

トリマーで角を削りとる。

5

3種類の紙やすりを使って丁寧に磨く。

6



オオサンショウウオの目を電動ドリルであける。

7

植物性のニスで塗装する。

8

さらに丁寧に磨き込む。（擦りこみ作業）

【11パーツの製作】
《町産材ヒノキ》

1

3種類の紙やすりを使って丁寧に磨く。

2

へこみや傷などをアイロンで修復する。

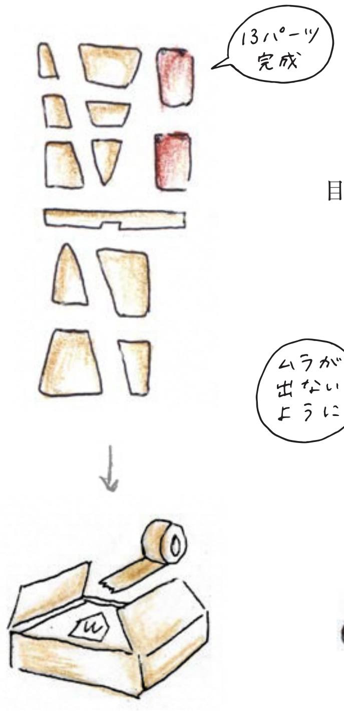
3

植物性のニスで塗装する。

4

さらに丁寧に磨き込む。（擦りこみ作業）

【梱包・発送作業】



検品に向けて13パーツの積み木を確認しながら木箱に入れる。

※上記の工程は2020年4月時点のもので、改良を重ねながら今後変更となる場合もあります。